



## AI 人工知能

### 1. AI 業界の女帝 李飛飛氏が「空間知能」社を設立、AI 技術の新たな飛躍をリード

スタンフォード大学の教授、AI 分野の著名な女性学者である李飛飛（フェイフェイ・リー）氏は最近、「空間知能」に焦点を当てた AI 会社の設立を発表し、シードラウンドの資金調達を行った。同社は、AI が人間のように物体間の関係性やその影響を理解・予測できることに力を入れ、視覚情報に対する AI の推論力の向上を目指している。投資家グループには、シリコンバレーの大手ベンチャーキャピタルである a16z、カナダのベンチャーキャピタルである Radical Ventures などが含まれる。



AI 業界の女帝とされる李飛飛教授は、Google Cloud（谷歌雲）AI のチーフ・サイエンティストを務めたことがあり、Google（谷歌）AI の中国センターの設立を推進した。新会社は AI と現実世界がより深くインタラクティブな関係性を持つことを実現させることに取り組むとともに、大規模言語モデルと視覚言語モデルを利用して、ロボットにドアを開けることやサンドイッチを作ることなどの 3D 空間での任務を実行させようとしている。また、李飛飛氏のチームは、対象物が見えない部分がある場合でも正確なモデリングが可能となる 3D モデリングモデルを発表した。李飛飛教授の起業は、AI 技術の発展における新たな一里塚と見られており、この分

野の新たなバロメーターになると期待されている。なお、氏は自らの回顧録である『The World I See』の中国語版が最近出版され、AI の発展についての見解や個人的な使命にも言及している。

出典：[36 氪](#) [虎嗅](#)

動画：[今日头条](#)

### 2. AI 翻訳ツールが言葉の壁を取り除き、芸術と科学技術の融合へ

AI 翻訳ツールは次第に言葉の壁を越え、世界をつなぐ架け橋となりつつある。翻訳家たちは、AI 時代にどのように社会科学分野の翻訳を洗練させ、著者の思想を伝えるかについて議論を行った。彼らは、機械翻訳は速く、より強力であると認めながら、訳者は依然としてかけがえのない存在であり、正確さと読者の受容性の間のバランスを取る必要があると強調した。そして、訳者の仕事は文字の翻訳だけでなく、感情、精神及び知識を伝える重要な役割であると説明を加えた。

没入型翻訳（イマージブ翻訳）プラグインで有名な LingoCloud（彩雲小訳）、NoteGPT、Glasp などの AI 翻訳ツールは、様々なシーンにおける言語翻訳のニーズを満たしている。これらのツールは、様々な翻訳サービスを横断的にサポートし、ユーザーがより速く正確な情報を獲得することを可能にした。一方、AI 翻訳ツールは優れたところがあるものの、独特の文体や専門用語体系を持つ学術著作を翻訳する際には、依然として大きな課題に直面している。

リカーブで技術を伴わない作業を AI に任せることで、翻訳者は作品の深い意味や文化的要素を伝えることに専念できる。このような芸術と科学技術の融合による AI 翻訳ツールの台頭は、翻訳業界に新しいチャンスをもたらすと同時に、伝統的な翻訳作業にも新たな要求を突き付けた形となる。

出典：[腾讯网](#) [虎嗅](#)